

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。  生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。	①新学習指導要領の趣旨を踏まえ、新教育課程の検討を進める。  ②生徒が主体的に学べるための授業研究を行う。  ・分かりやすい授業の実現を目指す。	①新学習指導要領の改訂に合わせ、諸々の課題を列記、整理する。  ②様々な生徒に対応できるように「授業のちょっと×2」の取り組みを深め、ちょっと、授業を工夫し実践していく。  ・ICTを活用し、教員間で連携・共有を図りながら「わかる・できる」授業を目指す。	①新学習指導要領の改訂の趣旨を活かし、諸々の課題を整理することができたか。  ②各教科で、「ちょっと×2」を実践した授業を行い、内容を共有できたか。  ・ICTを活用した授業例や教材等を教員間で共有しながら授業改善ができたか。					
2 生徒指導・支援	多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。  学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。	①外部の関係機関の人材と連携し、教育相談を推進する。 ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組を行う。  ②生徒が主体的に活動する環境づくりを進める。	①生徒相談体制を充実させ、指導・支援の観点から、外部機関と連携する。 ・いじめの未然防止、早期発見のためにいじめアンケートを行い、相談体制を整備する。  ②生徒会活動や部活動を通じて生徒の主体的な活動の場を増やす。	①生徒の指導・支援を外部機関と連携して行うことができたか。 ・いじめアンケートを行い、適切に対応することができたか。  ②生徒会活動や部活動を通じて生徒の自己肯定感の向上を図ることができたか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。	①キャリアサポート体制の充実を図る。	①キャリアサポート体制がさらに有効に機能するよう推進する。 ・テーマ研究や授業、職員研修の中で外部のNPOやハローワーク、企業と連携し、生徒や職員に情報提供を行う。	①キャリアサポート体制が有効に活用されたか。  ・支援を必要とする生徒に、適切なサポートが行われたか。					
4	地域等との協働	地域に理解され、信頼される活動を推進する。	①地域の学校等と連携を推進し地域貢献活動に積極的に取り組む。 ・防災活動について地域との協働を図る。  ②教育活動の情報発信の充実を図る。	①学校行事・学年活動・生徒会活動など様々な活動において地域との接点をふやせるようにする。 ・防災指導について「他者を助ける」ための指導をし、地域との協働の契機をつくる。 ②ホームページ等を通じて情報発信を積極的に行うとともに、学校説明会等の充実を図る。	①年間を通して、地域に貢献する活動を行うことができたか。  ・防災指導について「他者を助ける」ための指導ができたか。  ②情報発信等の工夫・改善が図ることができたか。					
5	学校管理 学校運営	安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。  フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。	①学校運営マニュアル等の内容の充実を図る。 ・三課程で連携実施する防災訓練を定着させる。 ②ICT機器の利活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。	①三課程での連携により学校運営マニュアル等を作成する。 ・過去の防災訓練の成果を精査して目標を明確にしたうえで訓練を実施する。 ②セキュリティ意識を高めるとともに、効果的な情報共有を進める。 ICT環境整備を推進する。	①学校運営マニュアルが作成できたか。  ・実施要項に基づき三課程合同の防災訓練が実施できたか。  ②セキュリティ意識を高め、効果的な情報共有ができたか。 使いやすいICT環境整備が推進できたか。					